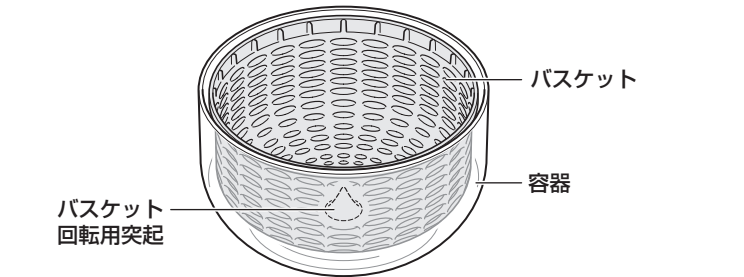


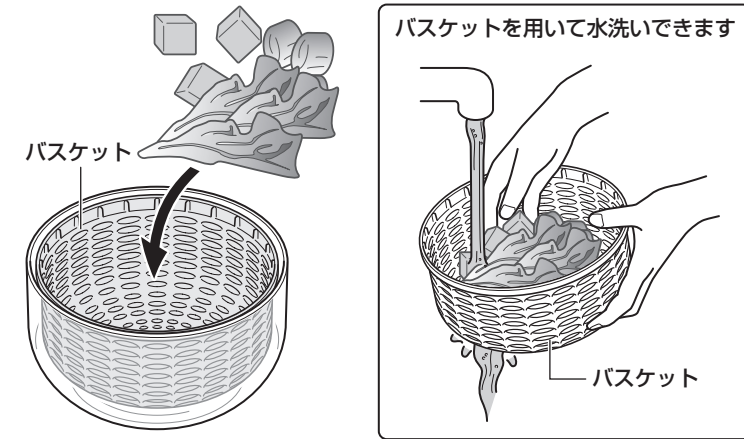
■サラダスピナーとしての使いかた

1 バasket底の凹部を容器内の回転用突起に合わせて取り付けてください

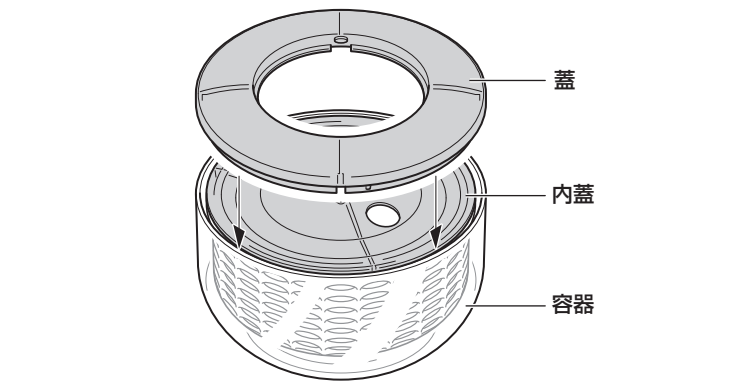


2 水洗いした食材をBasketに入れてください

注意 野菜の水切り以外に使用しないでください。故障・破損・けがの原因となります。サラダスピナー使用時、食材を詰めすぎると水切れが悪くなります。量が多い場合は複数回に分けてご使用ください。

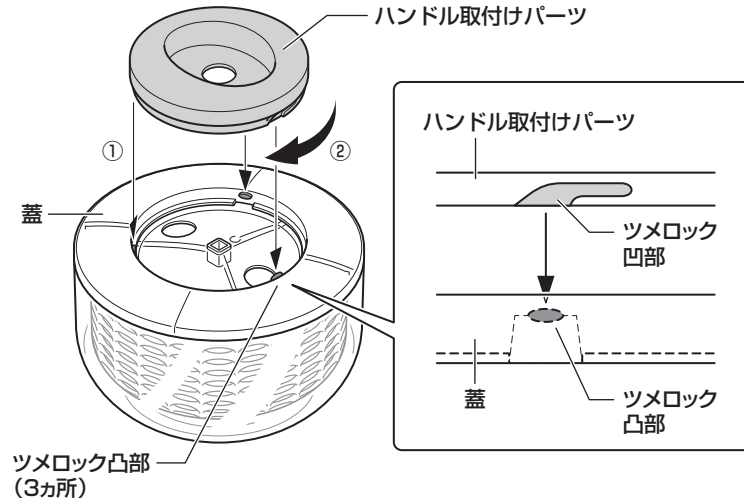


3 内蓋をBasketに取り付け、蓋を容器に取り付けてください



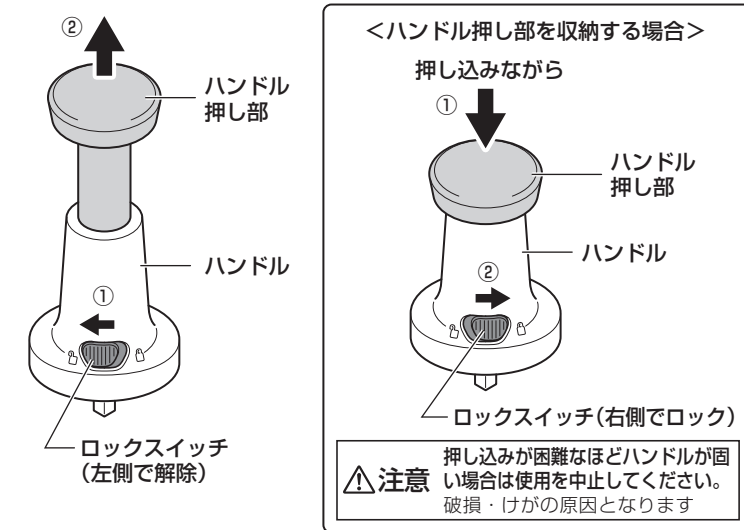
4 ハンドル取付けパーツを取り付けてください

①下図のようにハンドル取付けパーツと蓋のツメロック凸凹部を合わせてハンドル取付けパーツをはめ込みます。②ハンドル取付けパーツを時計回りに「カチッ」と音がするまで回し、取り付けます。



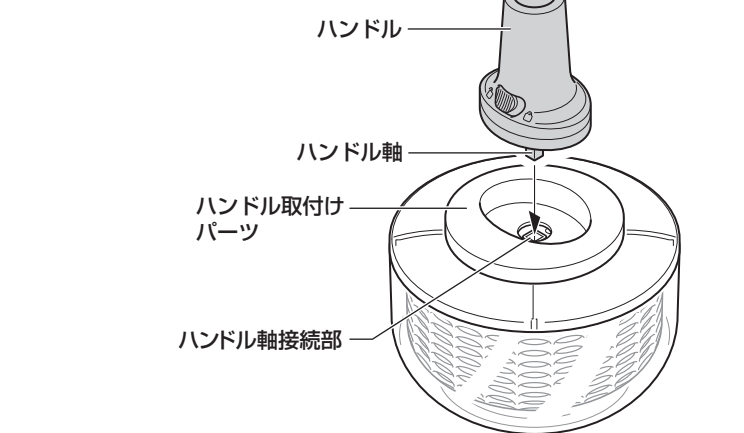
5 ハンドルのロックスイッチを解除（左側へ）し、ハンドル押し部を出してください

注意 ロックスイッチを解除すると、ハンドル押し部が勢いよく飛び出しますので注意してください。けがの原因となります。



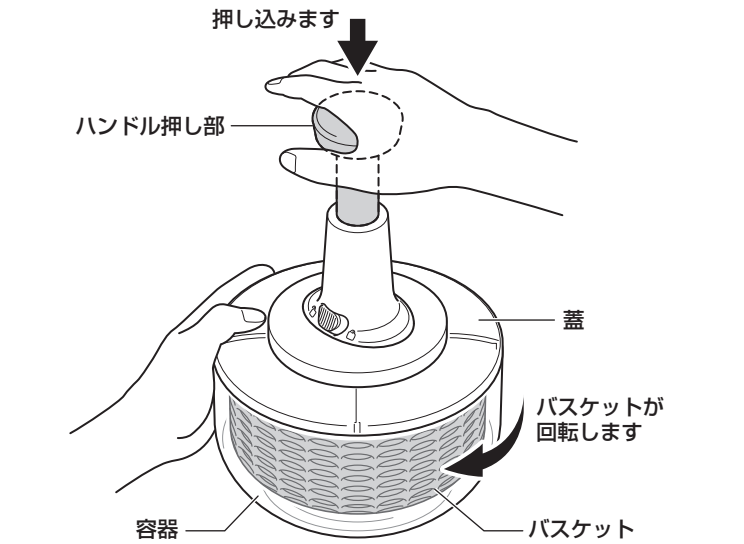
6 ハンドル軸をハンドル軸接続部に差し込み、ハンドルをハンドル取付けパーツにしっかり取り付けてください

ハンドル軸が内蓋凹部にしっかりとハマっていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、Basketが回転しません。

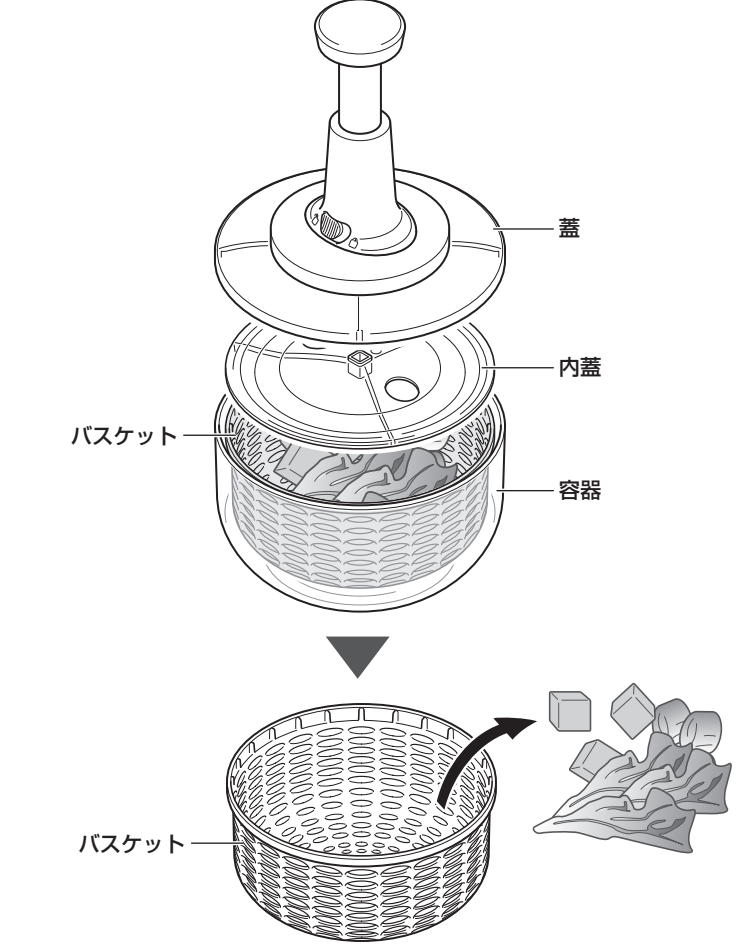


7 安定したテーブルなどに設置し、蓋と容器をしっかり押さえ、ハンドル押し部を押し込んで水切りをしてください

注意 ハンドル押し部を押し込んだ際に、指などを挟まないように注意してください。けがの原因となります。Basketの回転が終わるまで蓋を開けないでください。故障・破損・けがの原因となります。高速回転中に手を離すと容器が動く場合があります。回転が緩やかになるまで容器と蓋を押さえる手を離さないでください。故障・破損・けがの原因となります。野菜の欠片など小さな食材はBasketの穴から落ちてしまう場合があります。



8 回転が停止したら容器から蓋、内蓋とBasketを取りはずし、水切りした食材を取り出してください



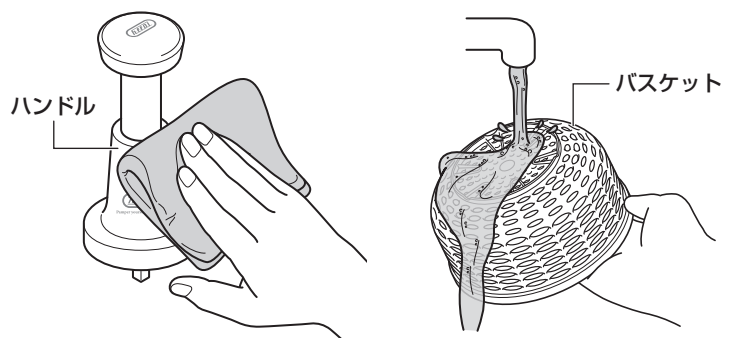
9 食材を取り出した後、容器から水を捨ててください

10 再び水切りするときは、一度お手入れをしてから水を切ってください
お手入れをしないで水切りを開始すると、各部品内部に食材が入り、故障などの原因となります。

お手入れのしかた

ハンドル以外の部品を洗い、乾燥させてください
Basketは野菜の破片などがたまりやすいので、ご使用後は裏返して水で洗い流してください

注意 ハンドルは水に浸けず、かるく水拭きしてください。ハンドル内部に水が入り、カビなどの原因となります。カッターパーツの刃の部分に直接触れないでください。カッターパーツを洗う際はスポンジ等を傷つける恐れがありますので、ご注意ください。



乾燥させたあとは、湿気の少ない風通しのいい場所に保管してください

注意 お手入れに、食器用中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。つけおき洗いはしないでください。破損や腐食・サビの原因となります。食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。変色・変形・劣化・破損の原因となります。使用後は早めにお手入れしてください。調理後そのままにしておくと、容器などに食材の色素が付着して変色することがあります。

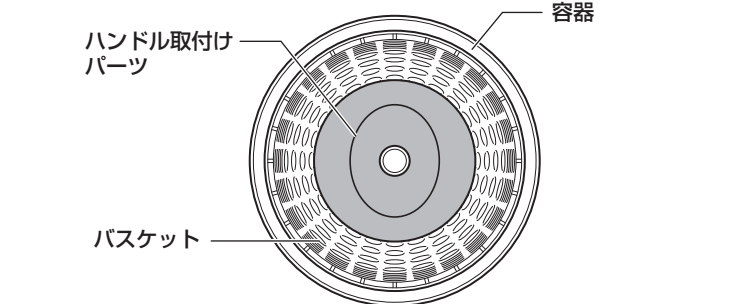
収納のしかた

以下のように部品を収めるとコンパクトに収納することができます

注意 カッターパーツの刃の部分に直接触れないでください。けがの原因となります。

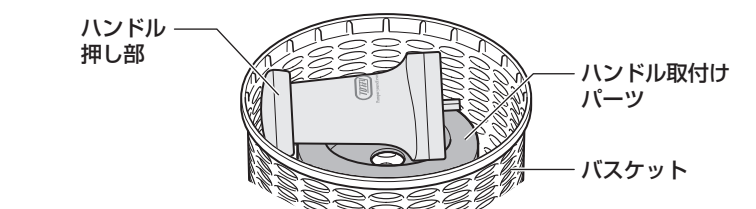
1 容器の中にBasketを収納します

2 Basketの中にハンドル取付けパーツを収納します

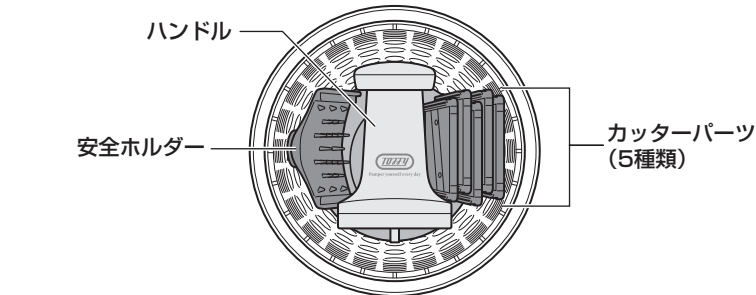


3 ハンドル押し部がBasketとハンドル取付けパーツの間に収まるように収納します

ハンドル取付けパーツの楕円長手方向に沿ってハンドルを置くときれいに収納できます。



4 ハンドルの両脇にカッターパーツと安全ホルダーを収納します



5 内蓋、蓋、カッタープレートを取り付けます

※カッタープレートの取り付け方は「■スライサーとしての使い方②」を参照してください。

